

(2) 学生研修

1 材料・応用化学科(応用生命化学教育プログラム、応用物質化学教育プログラム)

本学科では、毎年合宿研修を通じて新入生と教職員及び学生会(青藍会)との親睦を図っている。平成30年度も例年と同様に1泊2日で新入生同士、また先輩との親睦を深めることを目的とした交流会、マリンスポーツ(ペーロン船)等のイベントを含む研修を行った。新入生のほぼ全員が参加し、同級生や先輩および教員と親睦を深めることができた楽しい2日間だったと思う。概要は次の通りである。

日時:平成30年6月2日(土)～6月3日(日)

場所:熊本県立天草青少年の家(熊本県上天草市松島町合津5500番地)

参加学生数: 1年生85名、青藍会学生23名

参加教職員数: 6名

日程及び内容等:

スケジュール

○6月2日(土)

9:00 熊本大学 物生棟前集合、出発式

9:30 熊本大学 出発

12:00 天草青年の家 到着

13:10 入所式

13:30 ミニ運動会

16:00 講演会(松本泰道 副学長)

17:00 ゆうべのつどい

18:00 夕食、入浴

21:00 交流会

22:00 自由、就寝準備

22:30 消灯

○6月3日(日)

6:30 起床

7:00 朝の集い

7:30 朝食

9:10 移動

9:30 マリン活動(ペーロン船)

11:00 退所式、天草青年の家出発

13:00 熊本大学到着、解散式

2 材料・応用化学科(物質材料工学教育プログラム)

1年次の導入科目である「社会と企業」の一環として、学外研修および工場見学を実施した。本学科での学習内容に対して理解を深めるとともに、クラス内の親睦を図ることを目的としている。平成 30 年度の実施概要は以下の通りである。

日 時: 平成 30 年 9 月 24-25 日(月, 火)

場 所: 熊本県立あしきた青少年の家(熊本県芦北郡芦北町鶴木山)
ヤマハ熊本プロダクツ株式会社様

目 的: 団体活動を通して親睦を図るとともに、協調性を養う。

参加人数: 54 名

内訳: 学生 51 名、引率教員 3 名(河村能人教授、山崎倫昭准教授、志田賢二技術職員)

日程および内容:

9 月 24 日(月曜日)

8:45	熊本大学工学部百周年記念館前集合・点呼
9:00	熊本大学出発 (チャーターバス移動)
10:45	あしきた青少年の家到着
11:00-12:00	入所式とオリエンテーション(代表挨拶・学生代表宣言・説明)
12:00-13:00	昼食、入室・着替え・その後自由時間
13:00-13:30	集合・自己紹介
13:30-16:00	マリン活動(カッター競争 3 班)
16:30-17:30	シーツの受け取り・入浴
17:30-18:30	講義:材料リテラシー教育・その 1(河村能人教授)
18:30-19:15	夕食
19:30-21:00	野外活動(ナイトゲーム 10 班)
21:00-22:00	自由時間 (この間「臨時学生相談室」開設)
22:00	就寝・消灯

9 月 25 日(火曜日)

6:30	起床・朝の集い(旗担当者 1 名、団体紹介 1-2 名)
7:30	朝食、部屋の掃除・荷物の整理・シーツの返却(その後自由時間)
9:30-10:30	野外活動(ビンゴオリエンテーション 10 班)
10:30-11:30	材料リテラシー教育・その 2(山崎倫昭准教授)
12:00-12:30	昼食
12:30-12:45	退所の集い(反省会と退所式)・退所
12:50	あしきた青少年の家出発 (チャーターバス移動)
14:00	ヤマハ熊本プロダクツ株式会社様着
14:30-16:30	工場見学会
16:30	ヤマハ熊本プロダクツ株式会社様発 (チャーターバス移動)
18:00	熊本大学工学部到着・解散

3 機械数理工学科(機械工学教育プログラム、機械システム教育プログラム)

本学科では、改組に伴い H30 年度から機械数理工学科として研修旅行を実施した。

新入生の導入授業である「工学基礎実験」の一環として、機械数理工学科の専門科目を学ぶことの動機付けと社会に踏み出す際に必要な心構えについての教育を行うことを目的とした日帰りの研修旅行を実施している。

平成 30 年度の機械数理工学科 1 年次の研修旅行は、熊本市北区植木町一木 111 番地にある平田機工株式会社熊本工場を見学した。

実施日:平成30年5月14日(月)

参加者:学生112名, 教員5名

スケジュール:

1 年 1 組および2組前半のスケジュール

12:00 ~ 12:30 集合・点呼(バス出発時刻 12:30)

12:30 ~ 13:00 バス移動

13:00 ~ 15:00 工場見学

15:00 ~ 15:30 バス移動, キャンパス到着後解散

1 年 2 組後半のスケジュール

14:30 ~ 15:00 集合・点呼(バス出発時刻 15:00)

15:00 ~ 15:30 バス移動

15:30 ~ 17:30 工場見学

17:30 ~ 18:00 バス移動, キャンパス到着後解散

4 土木建築学科(土木工学教育プログラム・地域デザイン教育プログラム)

学科の学生同士、学生と教員間の親睦を深めること、土木建築学に関連する施設を見学し、今後の大学生活や勉学に対する意識を涵養することを目的として、日帰りの研修を実施した。

当日は、国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所が所管する二重峠トンネル工事大津側掘削現場と赤水側の地盤沈下対策工事現場に始まり、阿蘇火山博物館、立野ダム、ましきラボを見学した。

二重峠トンネルは平成 28 年熊本地震の影響を受けた国道 57 号線の迂回路として掘削されており、災害復旧事業であることから避難坑を利用して 2 方向から本坑を掘り進め工期短縮を目指している。今回はトンネル掘削方法、内部の掘削状況、使用機材等について説明を受け、また、阿蘇火山外輪山内の赤水側では軟弱地盤改良工事の説明を受けた。多くの学生が大規模な土木工事の現場に圧倒された様子だった。

阿蘇火山火口見学は生憎の天候で断念となったが、阿蘇火山博物館学芸員やジオガイドの方々の案内で博物館内を見学し、阿蘇火山とその周辺地域の成立ちと文化について学んだ。立野ダムは雨足が強く十分な見学が困難であったが、立野ダムが建設される場の状況を実感する機会となった。

見学の最後は、益城町に位置する熊本大学ましきラボであった。ましきラボの活動に携わる円山琢也先生の説明と案内から、ましきラボの活動内容と熊本地震で大きな被害を受けた益城町の状況について学んだ。

今回の研修旅行を通じ、阿蘇地域の成立ちと熊本地震との関係、災害からの復旧・復興とまちづくりという土木工学が携わる分野のつながりを学ぶことができただけでなく、学生同士の交流を図ることができた。また、3 年次編入生の中には 3 名の留学生がおり、日本の土木が関わる現場を具体的に知る機会となった。

尚、天候不良により見学が十分に行えなかった阿蘇火山火口と立野ダムについては、5 月 31 日に大学において補足説明を行った。

日時：平成 30 年 5 月 13 日(日)

場所：二重峠トンネル工事、阿蘇火山博物館、立野ダム、ましきラボ

参加者：学生 82 名、教員 10 名

スケジュール

5/13(日)

8:00 集合(工学部 100 周年記念館前)、点呼

8:15 大学出発

→ 9:15 二重峠トンネル工事現場到着 → 10:30 二重峠トンネル工事現場出発

→ 10:50 二重峠トンネル(赤水側)地盤沈下対策工事現場到着

11:20 二重峠トンネル(赤水側)地盤沈下対策工事現場出発

→ 12:00 昼食(阿蘇ファームランド) → 13:00 出発

→ 13:30 阿蘇火山火口到着 → 15:00 阿蘇火山火口出発

→ 15:30 立野ダム到着 → 16:30 立野ダム出発

→ 17:15 ましきラボ到着 → 18:00 ましきラボ出発

→ 18:45 大学到着、解散

5 土木建築学科(建築学教育プログラム)

平成 30 年度は実施なし。

6 情報電気工学科

情報電気工学科一年次の合宿研修は、下記の通り4月14日(土)～15日(日)の一泊二日の日程で行った。

日時：平成30年4月14日(土)～15日(日) 場所：熊本県立天草青年の家
 参加学生数：1年生155名 参加大学院生数：16名 参加教職員数：12名

日程および内容等：

4月14日(土)		4月15日(日)	
		06:30	起床, 寝具の整理, 洗面
		07:00	朝のつどい, 清掃
		08:00	朝食
08:15	大学集合, 点呼		
		09:00	コース分け説明会
09:00	大学出発		
		10:00	研修③
11:00	研修所到着		
11:30	入所式(オリエンテーション)	11:30	退所式
12:00	昼食	12:00	研修所出発
		12:15	千巖山展望所駐車場到着, 昼食
13:00	研修①	13:00	千巖山展望所駐車場出発
		13:15	リゾラテラス天草到着
		14:15	リゾラテラス天草出発
15:00	自由時間(レクリエーション)		
		15:45	大学到着, 解散
16:30	連絡会※		
17:00	夕べのつどい		
17:30	夕食, 入浴		
19:00	研修②		
20:30	交流会		
22:00	就寝準備		
22:30	消灯		

7 機械数理工学科(数理工学教育プログラム)

本学科では、改組に伴い H30 年度から機械数理工学科として研修旅行を実施した。

新入生の導入授業である「工学基礎実験」の一環として、機械数理工学科の専門科目を学ぶことの動機付けと社会に踏み出す際に必要な心構えについての教育を行うことを目的とした日帰りの研修旅行を実施している。

平成 30 年度の機械数理工学科 1 年次の研修旅行は、熊本市北区植木町一木 111 番地にある平田機工株式会社熊本工場を見学した。

実施日:平成30年5月14日(月)

参加者:学生112名, 教員5名

スケジュール:

1 年 1 組および2組前半のスケジュール

12:00 ~ 12:30 集合・点呼(バス出発時刻 12:30)

12:30 ~ 13:00 バス移動

13:00 ~ 15:00 工場見学

15:00 ~ 15:30 バス移動, キャンパス到着後解散

1 年 2 組後半のスケジュール

14:30 ~ 15:00 集合・点呼(バス出発時刻 15:00)

15:00 ~ 15:30 バス移動

15:30 ~ 17:30 工場見学

17:30 ~ 18:00 バス移動, キャンパス到着後解散